BONX WORK

START UP GUIDE

Talk 編 for Android

ver 3.0.0～

- BONX WORKの始め方 -

Set Up編
※管理者向け

Talk編

BusinessPlan編

本ガイドは、純正デバイスのセットアップ・アプリケーションの基本的な操作方法を説明しております。

⓪ はじめに P2

① BONX BOOSTのセットアップ P4

BONX BOOSTをご利用のお客様はご覧ください

1-1. BONX BOOSTの組み立て
1-2. Bluetoothの設定
1-3. BONX BOOSTの装着
1-4. BONX BOOSTの基本操作

イヤフォン型デバイス
「BONX BOOST」

② BONX Stickのセットアップ P9

BONX Stickをご利用のお客様はご覧ください

2-1. BONX Stickについて
2-2. Bluetoothの設定
2-3. BONX Stickの装着
2-4. BONX Stickの基本操作
2-5. マイクモードとBONX Trigger

マイク型デバイス
「BONX Stick」

③ BONX WORKアプリの開始 P14

専用アプリケーションを入手しログインします

3-1. BONX WORKアプリのダウンロード
3-2. BONX WORKアプリへのログイン
3-3. アプリ画面の各部名称

④ トークルーム作成・通話 P19

グループトークを行うためのトークルームの作成、参加をします

4-1. トークルーム作成
4-2. トークルーム招待
4-3. トークルーム参加
4-4. トークルームの入退室（接続・切断）
4-5. よく使うルームとルーム検索
4-6. ルームの表示形式と並び替え

iOS　Android

⑤ トーク方法・通話時の設定 P25

通話を行う際のアプリ・イヤフォンの操作方法を確認しましょう

5-1. トーク方法について
5-2. トーク方法①押しながら話す
5-3. トーク方法②マイクオン・オフの切替
5-4. 通話のカスタマイズ – トーク設定

⑥ プライベートトークの使い方 P30

ルーム内の特定の人のみと通話する機能です

⑦ その他接続可能機器の使い方 P31

純正デバイス以外に接続可能な機器について説明しております

7-1. Shokz社　OpenComm2 PTTの使い方
7-2. YAMAHA社　YVC-200,YVC-330の使い方

⓪ はじめに

BONX WORKをご利用いただきありがとうございます。
本ガイドでは、BONX WORKアプリを始めるお客様向けにBONX純正デバイスの初回セットアップ、BONX WORKアプリの操作方法を説明しております。
テナント作成、管理画面の操作方法については、管理者向けのStart Up GuideのSet Up編をご覧ください。
ビジネスプラン機能の説明は、Start Up GuideのBusiness Plan編をご覧ください。

推奨環境・対応端末状況について

- BONX WORKの推奨環境については、こちらからご確認ください。
- 対応端末状況は、 こちら もしくは下記QRコードよりご確認ください。
- ※Androidは動作保証ができかねる端末がございますので、ご利用開始前に上記ページを必ずご確認ください。

対応端末

BONX WORKアプリご利用上の注意

BONX WORKをご利用の際は以下の点にご注意ください。

- アプリダウンロードの際は［**BONX WORK**］をダウンロードして下さい。
  ※ コンシューマー向け［BONX］を誤ってダウンロードしないようご注意下さい。

- コンシューマー向け［BONX］と［BONX WORK］を同時に立ち上げると、BONXイヤフォンやアプリの機能にて、問題が発生する可能性があります。
  利用する時はどちらか片方だけを立ち上げてください。

ヘルプセンター・お問い合わせ先

WEBヘルプセンターでは、スタートアップガイド（マニュアル）・オンボーディング動画を掲載しておりますのでご覧ください。
各項目別の操作方法、トラブルシューティングについても随時更新をしております。
ご不明点は弊社サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

スタートアップガイド・オンボーディング動画

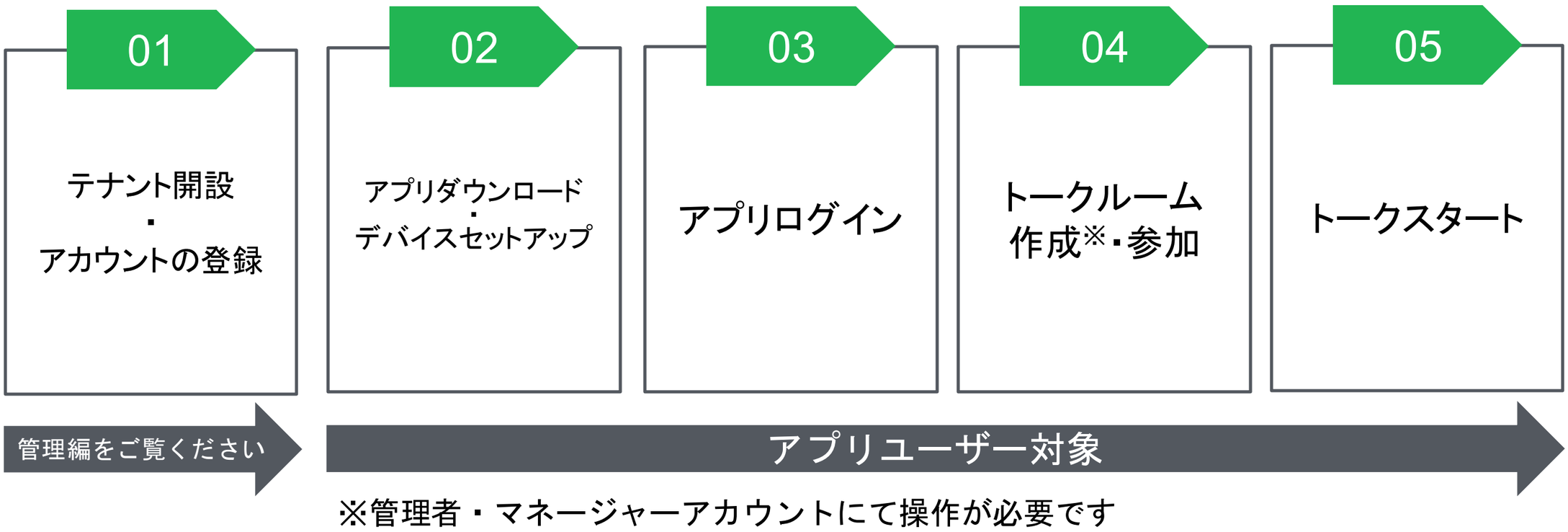
ヘルプセンター

お問い合わせ

⓪ はじめに

利用開始までの5ステップ

本ガイドでは02以降の内容を説明しております。
まだ、テナント開設後にアカウントの登録がお済みでないお客様は、Start Up Guide Set Up編をご覧いただき、アカウントの登録から行なってください。



※管理者・マネージャーアカウントにて操作が必要です

よくある質問

Q1　アプリのログインは毎回必要ですか？
A1　ユーザーアカウントは初回ログイン後、ログアウトをしない限りログイン状態が続きます。共用アカウントは、運用方法によりますが、原則毎回ログインが必要です。

Q2　管理者のアカウントもアプリのダウンロードとログインは必要ですか
A2　アプリを利用しなければ必要ないですが、
管理者アカウントも１アカウントとしてカウントされております。
また、管理者アカウントのメールアドレスの変更を行う操作・
トークルーム招待の［メンバーリスト招待］操作はアプリ上からしかできません

Q3　トークルームは毎日作成・招待・参加する必要がありますか
A3　毎日作成・招待の必要はございません。
参加についても、該当ルームに参加済みのアカウントは、
次回よりそのルームをタップして接続するのみで通話が行えます。
※新しいトークルームを作るとき、該当ルームに新しい人を招待するときは操作が必要です

① BONX BOOSTのセットアップ

1.BONX BOOSTの組み立て

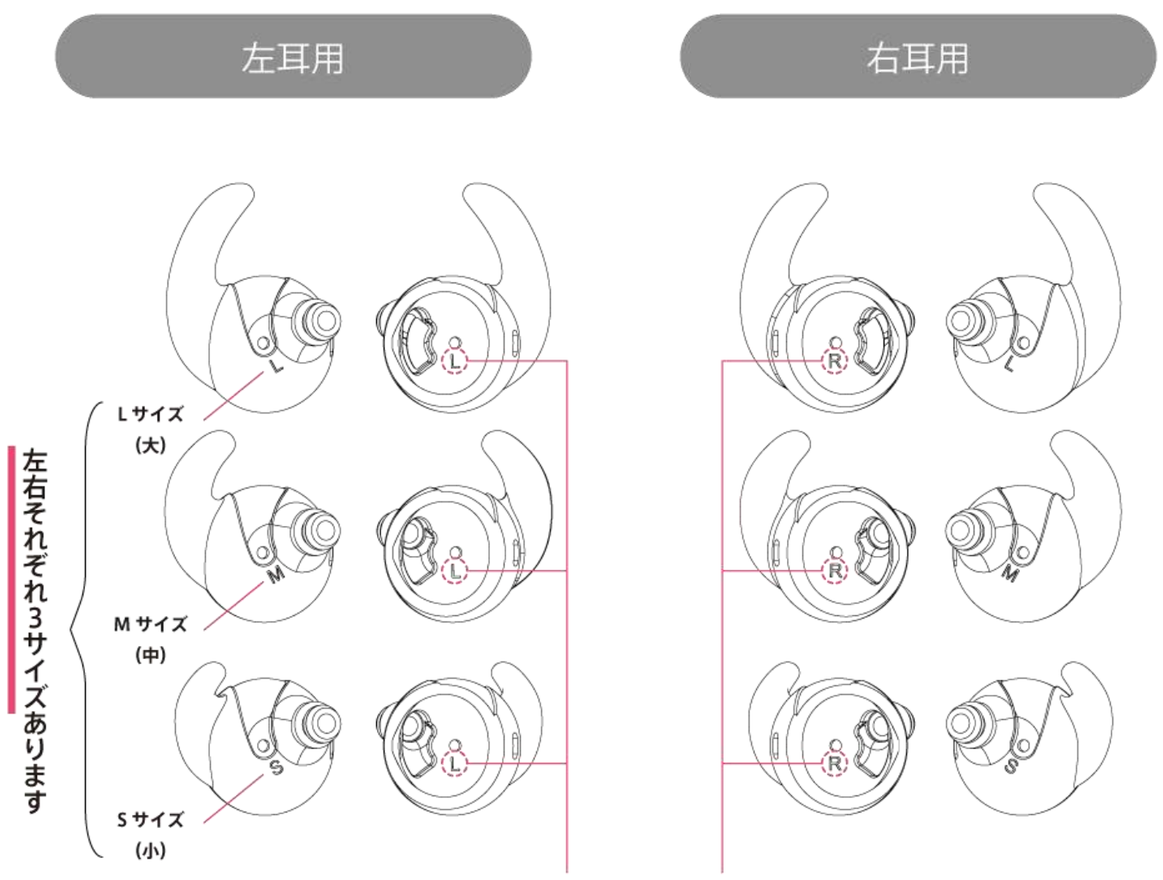
BONX BOOST の各部名称・同梱品

BONX BOOSTは、デバイス本体にシリコン製のイヤーハンガーとイヤーキャップを取り付けて使用します。各サイズ同梱しているので、自分の耳にあったサイズをお選びください。

※Light Packには充電ケースではなくUSBダイレクト充電ケーブルが同梱されております。

BONX BOOST のイヤーハンガーについて

イヤーハンガーには、サイズ・左右の向きがございます。下図を参考にいただき、ご自身の耳に合うイヤーハンガーを本体に取り付けます。



右耳用には右（Right）を示す（R）が
左耳用には左（Left）を示す（L）が
内側に刻印されています

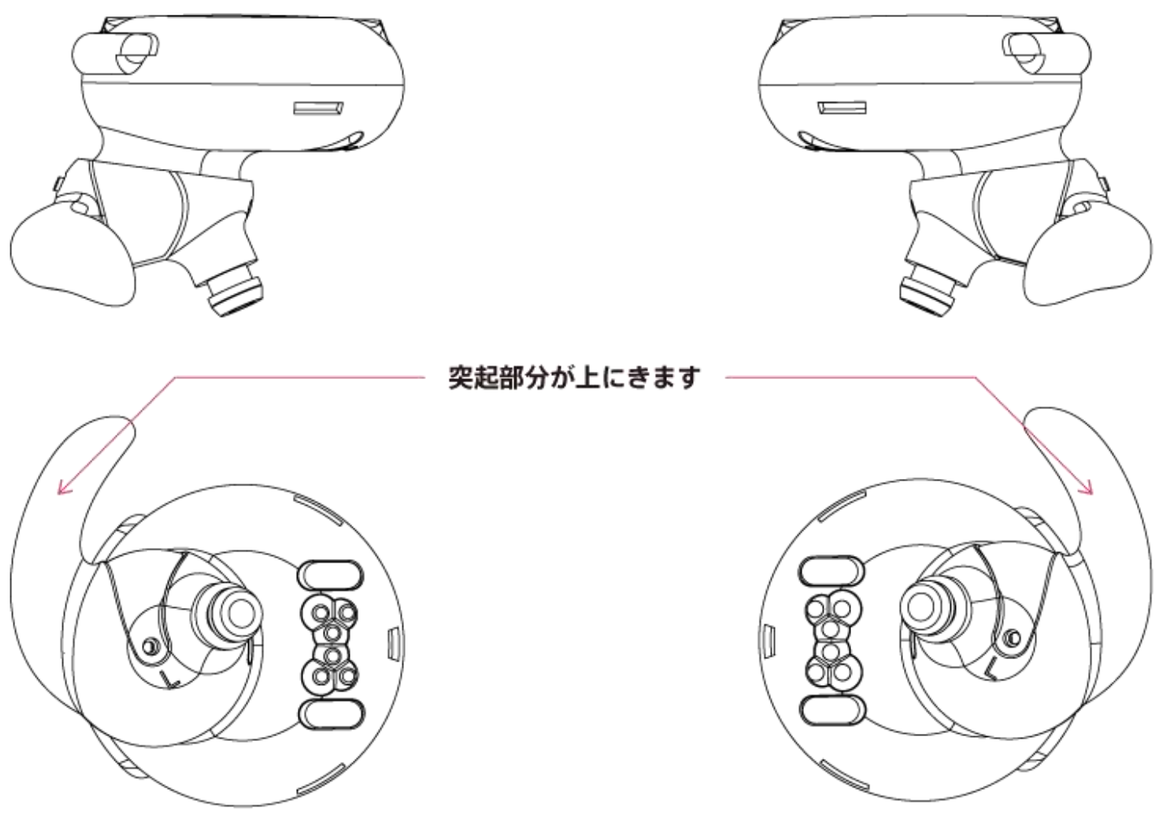
① BONX BOOSTのセットアップ

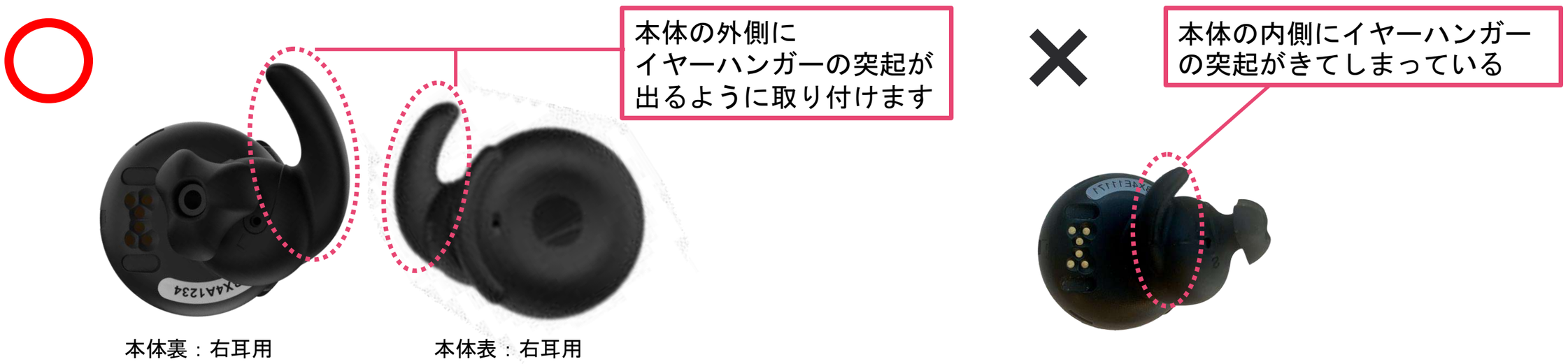
1.BONX BOOSTの組み立て

BONX BOOST パーツの組み立て方

必ずイヤーハンガーを先に取り付けてからイヤーキャップを取り付けてください。
イヤーハンガーは取り付ける方向があります。耳に引っ掛ける箇所（突起）が本体の外側に出るように取り付けてください。下図も参考にいただき、左右の装着状態を確認して下さい。

左耳に装着する場合　　右耳に装着する場合





Tips

- 付属のイヤーキャップが合わない場合は、量販店等で販売しているカナル型イヤーキャップを別途お買い求めいただき、装着いただくことが可能です。
- 片耳用イヤーハンガーはDロット以前、Eロット以降で形状が異なります。互換性はございませんのでご注意ください

① BONX BOOSTのセットアップ

2. Bluetoothの設定

スマートフォンのBluetooth設定

スマートフォンの設定＞Bluetooth＞ON

※スマートフォンとデバイスの距離が離れすぎないようにご注意ください
※Androidは端末によって設定画面の表示が異なります。

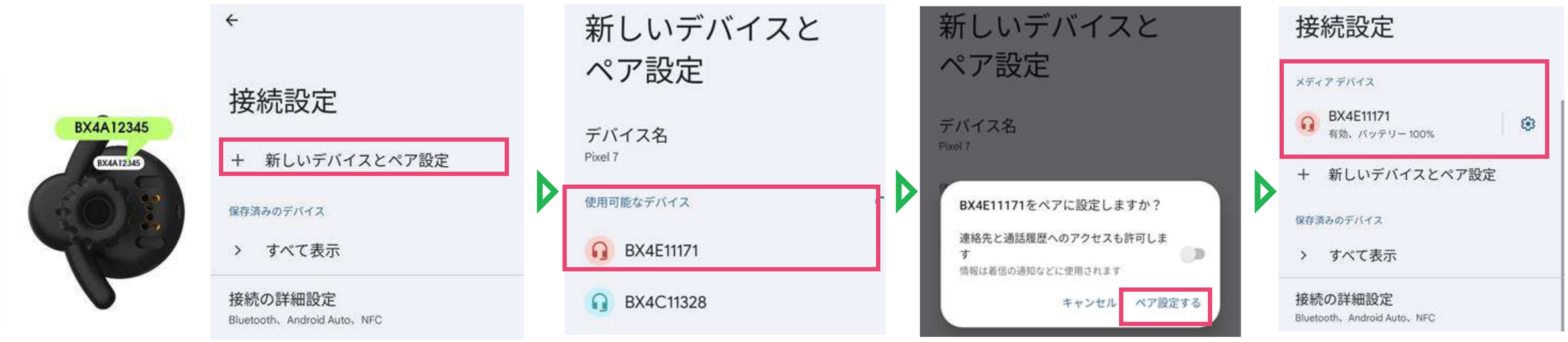
ペアリング

❶BONX BOOSTの電源をONにします。充電ケース、USBダイレクト充電ケーブルからデバイス本体を取り外すと自動で電源がONになり、緑色LEDが2秒点灯します
（自動で電源が入らない場合は、メインボタンを1秒押下し、電源を入れます）

❷本体裏面のシリアルNo.を確認します。

❸本体電源ONののち、LEDが緑/橙に点滅状態（ペアリングモード）になります。❷で確認したシリアルNo.がスマートフォンのBluetoothのデバイス一覧に表示されたら、タップをして接続を行います。

接続済みと表示されたら、ペアリング完了です。



新しいデバイスとペア設定＞使用可能なデバイス欄に
BOOSTのシリアルNo.が表示されたらタップ

画面の操作に沿って設定し、
メディアデバイスにシリアルNo.が表示されれば
ペアリング完了です

Tips 接続がうまくいかない場合は、強制ペアリングモードを使用します。

❶BONX BOOSTの電源をONにした状態で、メインボタンを6秒間長押ししてください。
❷LEDが緑/橙に点滅したら、ペアリングモードが開始されます。
❸端末のBluetoothデバイス画面一覧にて、シリアルNo.の表示がされたら、タップして接続します。

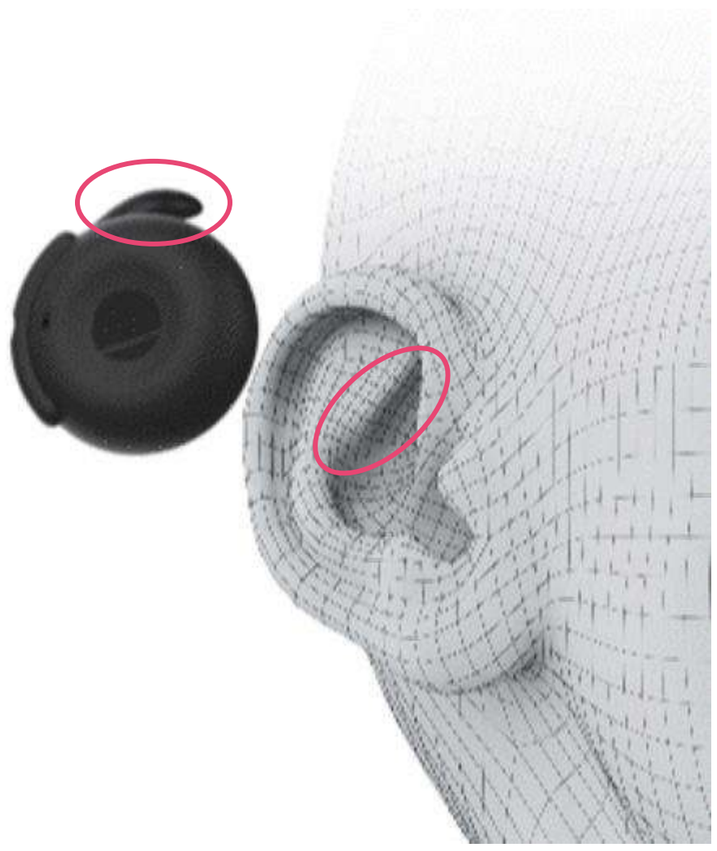
※電源ON後、緑色のLEDが点滅している場合も、6秒間はメインボタンを押し続けてください。

① BONX BOOSTのセットアップ

3. BONX BOOSTの装着

BONX BOOSTの装着方法

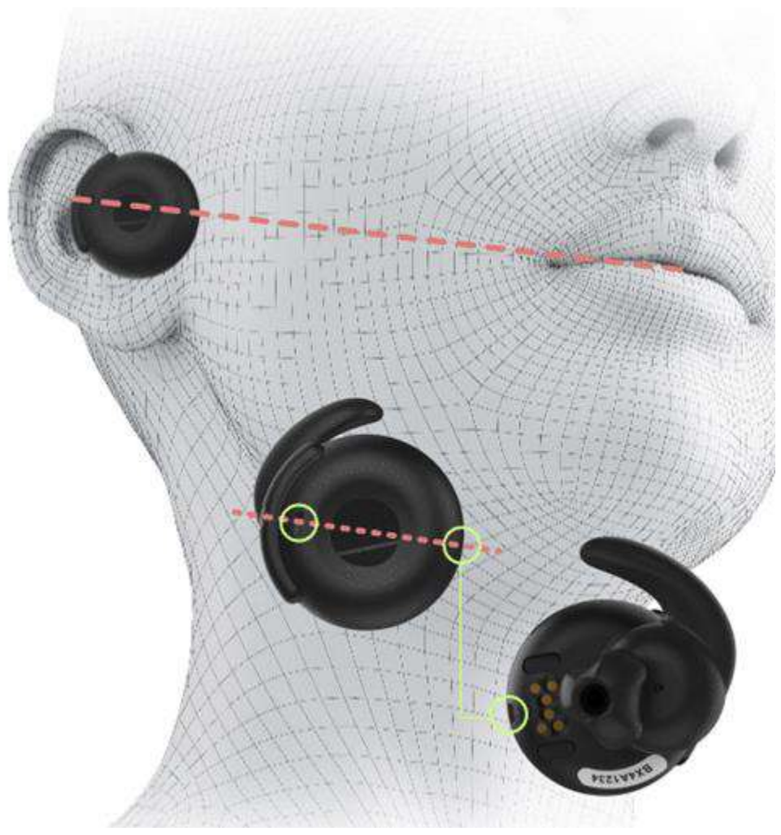
イヤーハンガーの突起を耳の窪んでいる箇所に引っ掛けます（下図参照）
VOL±ボタンが耳の外側を向いているかをご確認ください。
正しい向きに装着されていない場合、耳が痛くなったり、設定音量よりも小さく聞こえてしまうことがございます。



うまく装着できない場合

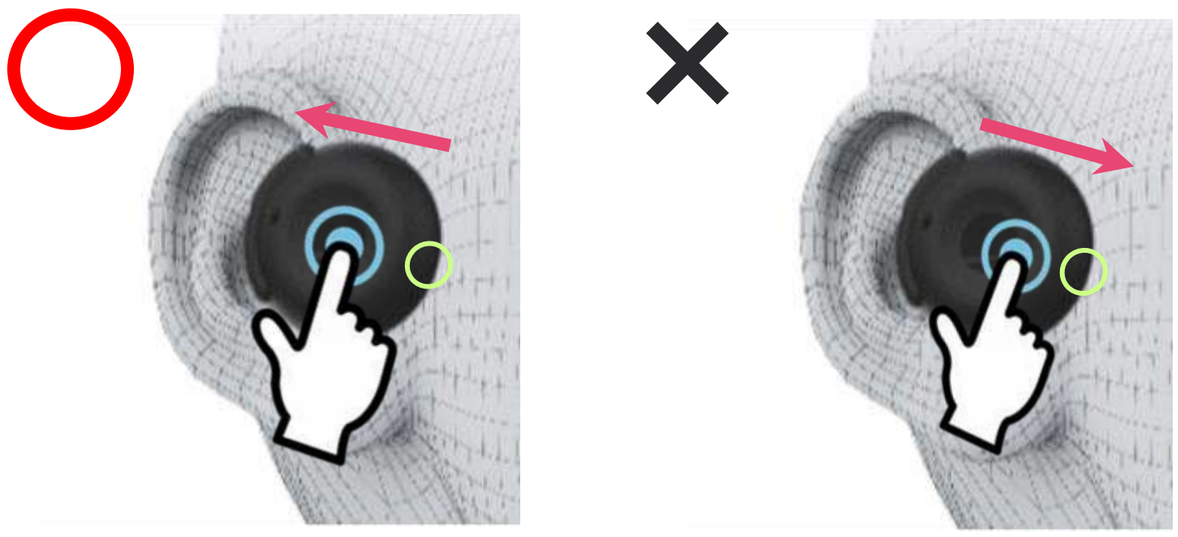
- イヤーハンガーを別サイズに付け替えてみて下さい
- 安定しない場合、市販のカナル型イヤーキャップをご利用いただくと安定する場合がございます
- 落下しやすい場合は別売りのイヤーフックをご利用下さい

マイク位置をご確認ください



- デバイスのマイクは、上図の緑の丸の位置にございます
- マイク穴が口元に向いていることを確認し、装着して下さい。

メインボタンの押し方



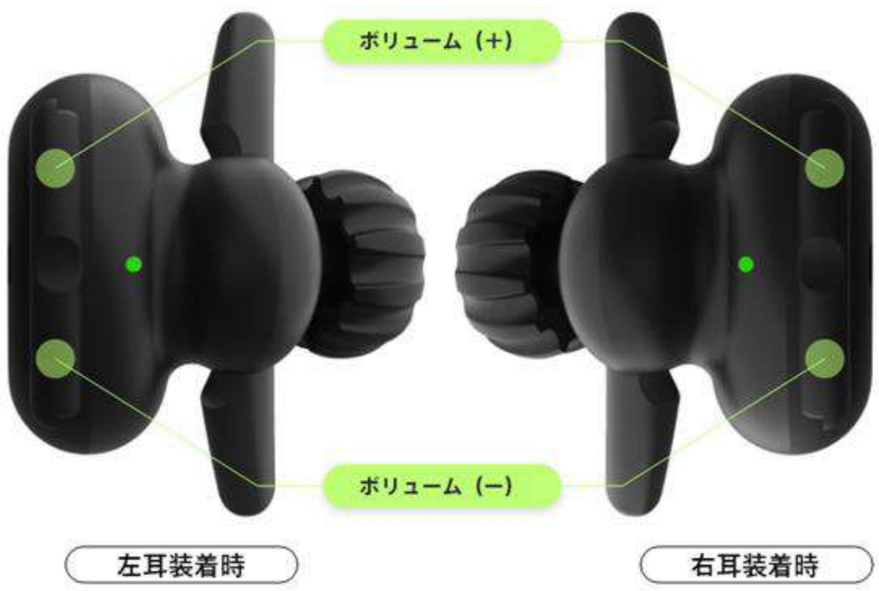
メインボタンを押す際は<u>垂直または、後方に</u>向かって押すと、**マイクが肌に触れず、正しい音声入力**が出来ます。

<u>前方(口元側)</u>に向かって押すと、**マイク部分を肌で塞いでしまい、**声がこもって、聞こえてしまう可能性がございます。

4. BONX BOOSTの基本操作

音量を調整する場合

ボリューム（＋）（ー）ボタンで音量の調節が可能です。



BOOSTは重力センサーを搭載しているため、左右どちらの耳に装着しても上側のボタンがボリューム（＋）となります。

電話受話・終話の操作

BOOSTのメインボタンを使って電話の受話・終話を行えます。

着信受話	着信時	メインボタンをシングルクリック
受話拒否	着信時	メインボタンを長押し
終話	通話中	メインボタンをシングルクリック

BOOSTの手動電源ON・OFF

基本的には、充電ケース、USBダイレクト充電ケーブルからデバイス本体を取り外すと自動で電源がONになります。
デバイス本体を充電ケース、USBダイレクト充電ケーブルに戻すと自動で電源はOFFになります。

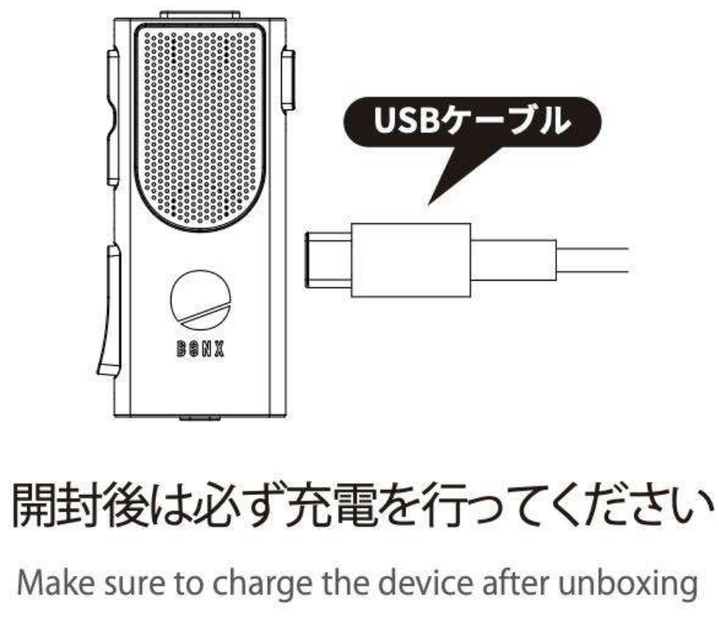
手動で電源をON・OFFする際は以下の操作を行います。
- 電源ON　：メインボタンを１秒間長押しします。LEDが緑に点灯します
- 電源OFF　：VOL±ボタンを同時に１秒間長押しします。LEDが橙に点灯します

② BONX Stickのセットアップ

1.BONX Stickについて

BONX Stick 開封時のご注意点

開封後は必ず充電を行なってください（開封後はシッピングモードとなっており、そのままでは電源が入りません）
付属のUSBケーブル（USB Type-C®ダイレクト式）を使用して充電を行います。
充電中はLEDが赤に点灯し、充電終了後は消灯します（約2時間でフル充電されます）



BONX Stick の各部名称

①電源ボタン
②トークボタン
③音量ボタン（アップ・ダウン）
④BONX Trigger
⑤LEDインジケーター
⑥マグネット・クリップ
⑦シリアルNo.

② BONX Stickのセットアップ

2. Bluetoothの設定

スマートフォンのBluetooth設定

スマートフォンの設定＞Bluetooth＞ON

※スマートフォンとデバイスの距離が離れすぎないようにご注意ください

ペアリング

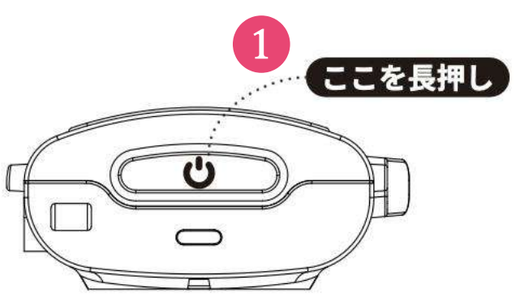
❶BONX Stickの電源ボタンを長押し、ONにします。緑色LEDが2秒点灯します

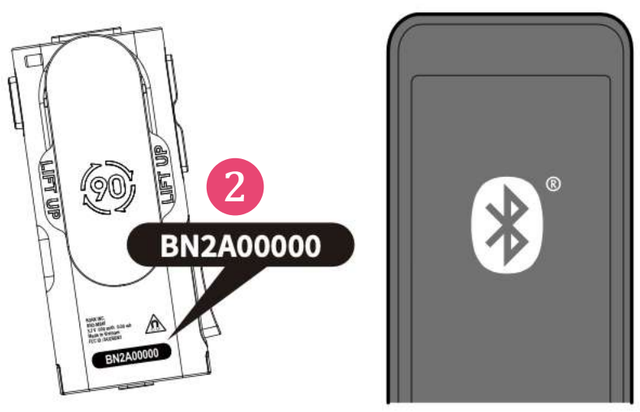
❷本体裏面のシリアルNo.（BN2～）を確認します。

❸電源ONをすると、自動でペアリングモードに移行します。本体LEDが緑/オレンジに点滅状態か確認します。

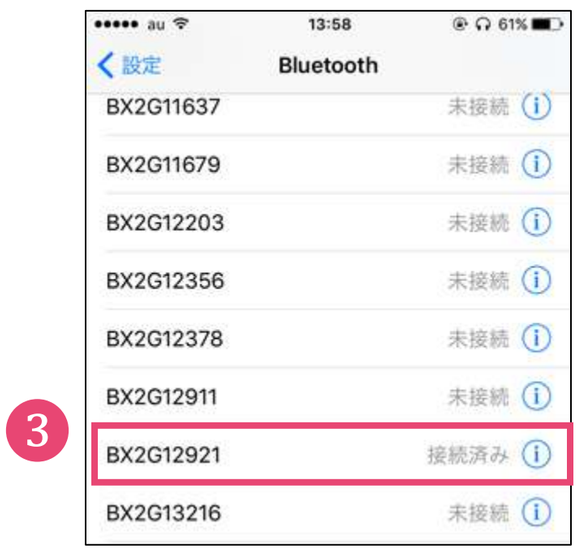
※点滅状態になっていない場合は、1度電源OFFの状態から電源ボタンを5秒長押しし、ペアリングモードを起動してください。❷で確認したシリアルNo.がスマートフォンのBluetoothのデバイス一覧に表示されたら、タップをして接続を行います。

接続済みと表示されたら、ペアリング完了です。





BONX BOOST本体の裏側にシリアルNo.が表記されています。



シリアルNo.がBluetoothデバイス一覧画面に表示されたら、タップして「接続済み」にします。

Tips BONX Stickの電源ON/OFF

- 電源ON　：電源ボタンを2秒間長押しします。LEDが緑に点灯します
- 電源OFF　：電源ボタンを2秒間長押しします。LEDが赤に点灯後、消灯します

② BONX Stickのセットアップ

3. BONX Stickの装着

BONX Stickと有線イヤフォンを接続します

BONX Stickは、有線イヤフォンを接続して使用するデバイスです

※Φ3.5mm 2極モノラルまたは3極ステレオの有線イヤフォンを接続してください。3極ステレオの場合、右と左からは同じ音が再生されます。

装着イメージ

【BONX intro knot for Stickをご利用いただく場合】
下図のように、耳に引っ掛けるイメージで装着します。
BONXロゴが外側、耳穴の上部にドライバーがきていれば正しく装着されております

BONX Stick裏面についているマグネットクリップを使用し、本体のマイクが口元を向くように装着します。マグネットクリップの向きを必要に応じて変えて、調整してください。
下図は、胸元モード（デフォルトのマイクモード）に適した装着方法です。他のマイクモード利用時の発話についてはこちらをご覧ください。

正しい装着方向

誤った装着方向

Notice マグネットクリップの向きを変える時の注意点

- マグネットが吸着したまま回転させると破損の原因となりますので、クリップの向きを変える際や本体から外す際は、**Lift up**部を掴んで操作してください。
- 無理な力を加えず、吸着面からゆっくりクリップを外し、向きを調整してください。
- マグネットから外す際に強い力を加えると、クリップの破損の原因になる可能性がございます

② BONX Stickのセットアップ

4. BONX Stickの基本操作

電話の受話・終話

BONX Triggerの操作で、電話の着信時に受話・終話を行うことが可能です。

着信受話	着信時	BONX Triggerをシングルクリック
受話拒否	着信時	BONX Triggerを長押し
終話	通話終了時	BONX Triggerをシングルクリック

LED表示について

BONX Stickの動作状態をLEDインジケーターで確認できます。

電源ON	🟢	電源ボタンを2秒長押し→緑点灯
電源OFF	🟠	電源ボタンを2秒長押し→赤点灯
待機中	🟢	7秒おきに短く、緑2回点滅
充電中	🟠	充電時：赤点灯、充電終了後：LED消灯
ペアリングモード	🟢↔🟠	電源OFFの状態から、電源ボタンを5秒長押しで 緑・オレンジが交互に点滅
出荷時リセット	🟢↔🟠	電源ONの状態で、電源ボタンとトークボタンを同時に10秒長押し →緑・オレンジが交互に4回点滅

② BONX Stickのセットアップ

5. マイクモードとBONX Trigger

3種類のマイクモード

アプリのトーク設定画面より3種類のマイクモードの選択が可能です。利用シーンに合わせて最適なモードを選択できます。変更方法はこちらをご覧ください。
※BONX WORK内でのコミュニケーションには「口元モード」と「胸元モード」が適しております
※「広域集音モード」は周りの音の集音も可能なため、様々なシステム連携などでの使用を想定しています

口元モード	本体を口元に近づけて使用するモードです。最も集音性能が高く、極めて騒がしい環境でも、話者の声だけを正確に捉えることが可能です
胸元モード	本体を襟やラペルなど、口元から20cmほどの位置を目安に装着し、使用します。マイクには指向性があり、周囲の雑音を拾いにくいため、クリアな音声で通話が可能です
広域集音モード	指向性を大きく広げ、装着者だけでなく周囲の音も広く集音するモードです。例えば、工事現場でのサイレンの音など環境音も含めて録音し、危機予防として振り返り分析に活用するなど、従来のBONXの使い方を超えた多様な活用を可能にします

口元モードで発話する時

胸元モードで発話する時

BONX Triggerについて

電話の受話・終話や音楽再生以外に、BONX WORKの各機能の操作を割り当てが可能になります（※今後のアップデートをお待ちください）

※2026年8月時点：株式会社ワイズマン様の「音声記録AIオプション」に対応しています。本機能は、インカムからの発話情報をAIで分析し、ワイズマンシステムへ自動登録するためのオプションで、ご利用には別途ご契約が必要です。また、P.29トーク方法・通話時の設定の「ボイスメモ」を有効にした上でご操作ください。

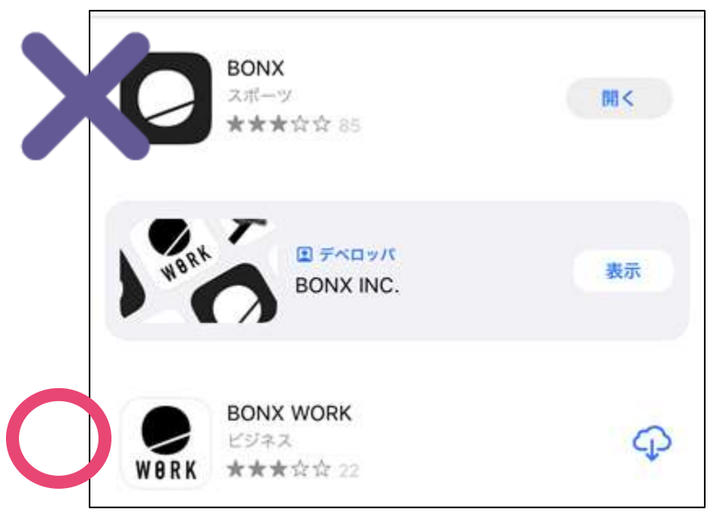
③ BONX WORKアプリの開始

1. BONX WORKアプリのダウンロード

QRコードを読み取るか、ダウンロードリンクよりアプリをダウンロードします。
本アプリは、**BONX WORK**でございます。

iOS　　Android

『BONX WORK』をダウンロードして下さい。
BONXの誤ダウンロードにご注意下さい。



アプリを立ち上げ、ログイン画面が表示されます

ダウンロードしたアプリを開き、右図のログイン画面が表示されたら、無事ダウンロード完了です。

続いて、ログインに進みます。

③ BONX WORKアプリの開始

2. BONX WORKアプリへのログイン

ユーザーアカウントのログイン

ユーザーアカウントのログインは、BONXアカウント→をタップします。
❶予め登録されたB4BID　❷メールアドレス、パスワードを入力し、❸今後のログイン用パスワードの設定画面に進みます（任意パスワードのお客様はスキップされます）
❸のあとにニックネーム、アイコンの変更画面に移ります。次のページをご確認ください。

※また、アプリ利用における権限の許可画面が表示された場合は、全ての項目を許可してください。

招待メールの確認

BONXファミリーへようこそ！
BONX WORKカスタマーサポートチームです。

このたび、　　さまのアカウントが[redacted]から招待されました。
早速アプリをダウンロードして本登録を行い、BONXを体験してみましょう！

- B4B ID : [redacted]
- メールアドレス : [redacted]
- パスワード : ZQwQQ858

アプリのダウンロードはこちらから
iOSアプリ : https://apps.apple.com/jp/app/bonx-work/id1314851949
Androidアプリ : https://play.google.com/store/apps/details?id=co.bonx.b4b&hl=ja

テナント管理画面のログインはこちらから
https://console.bonx.co.jp/signin

テナント管理者から
ユーザーアカウント追加をされている場合、
左図のような招待メールが届きます。

招待メールに記載されている
- B4B ID
- メールアドレス
- パスワード

を確認し、アプリのログイン画面で
入力を行なってください。

自分がどのアカウントに該当するか
わからない場合は、テナント管理者に
確認してください。

Tips
ログイン時に、パスワードが分からなくなってしまった場合は、こちらを参照しパスワードの再設定を行なってください。
※BONX側ではお調べできかねますので、ご了承ください。

③ BONX WORKアプリの開始

2. BONX WORKアプリへのログイン

共用アカウントのログイン

共用アカウントのログインは、テナント管理者/マネージャーから発行された共用アカウントコード（QRコードまたは、コード）が必要です。
❶ログイン画面で［共用アカウント→］を選択
❷QRコードを読み取り or コードを入力し、ログインをします。
ログイン後は、アプリ内でで使用するニックネーム・アイコンの設定に進みます。

管理者操作：コンソール画面からコードを表示

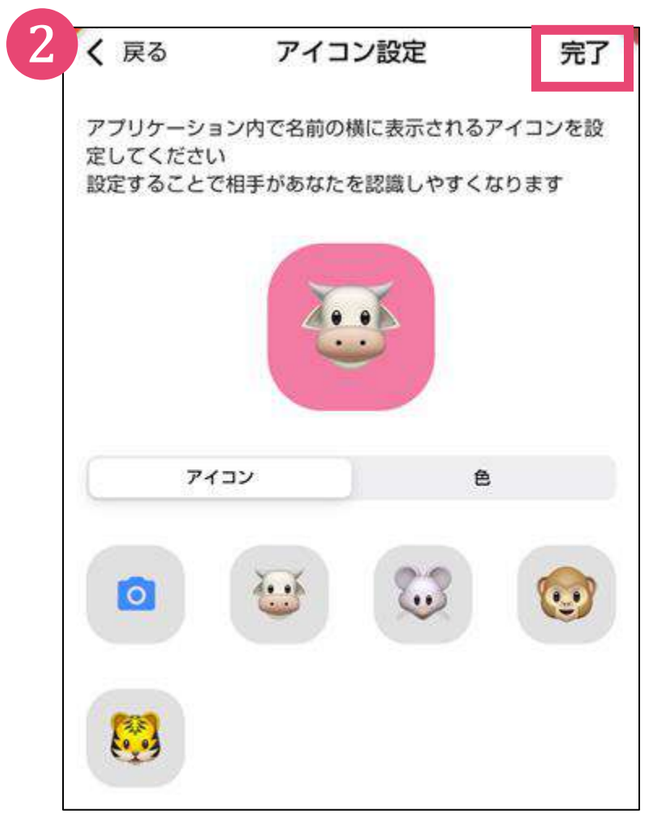
（コンソール画面：ユーザー画面）

ログイン側の操作：QRコード読み取りorコードの入力

❷QRコードをカメラで読み取り、またはコードを入力

ニックネーム・アイコンの設定

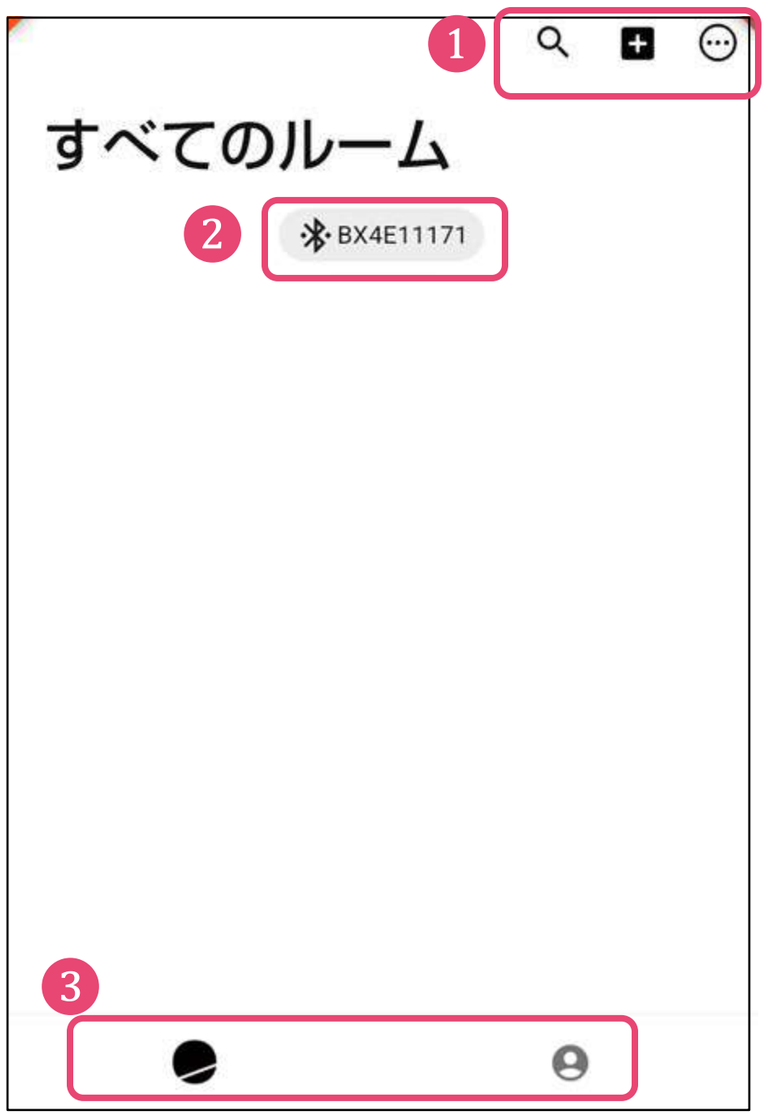
ログイン後は、ニックネームとアイコンの設定を行います。
❶ニックネーム：アプリ使用時の表示名・呼び出し名として使用します。ひらがな、またはカタカナを推奨します。
❷アイコン　　：設定をしておくと、個人の判別がしやすくなり、便利です。設定を行なったら、右上の［完了］をタップします。



③ BONX WORKアプリの開始

3. アプリ画面の各部名称

すべてのルーム画面：ログイン後に表示されます



1 トークルーム関係の設定アイコン

	ルーム検索機能
	ルーム作成・参加
	ルーム並び替え・表示形式

2 接続中デバイスの表示
正常にペアリングされているとデバイスの名称や、BOOST/Stickの場合はシリアルナンバーが表示されます。
※エラーが出る場合は、再ペアリングや充電を行なってください。

3 アプリの各画面に切り替えます

	すべてのルーム：アプリのメイン画面です
	設定画面　　:アプリの各種設定を行えます
	メッセージ一覧：各ルームのチャット画面に遷移 ビジネスプラン/有償オプション契約のお客様に表示されます

設定画面：アプリ内の各種設定を行えます

1 テナント名

2 管理画面（管理者・マネージャーのみに表示されます）

3 ニックネーム・アイコン変更
アカウント設定からも変更可能ですが、画面に遷移せずに簡単に変更可能

4 アカウント設定
ユーザーアカウントはメールアドレスやパスワードもこちらより変更可能

5 トーク設定
アプリの音声周りの機能を調節、設定できます。詳細はこちらをご覧ください

6 音声デバイス
接続中デバイスの確認が行えます（BOOST、Stickのファームウェアも確認可能）

7 使い方
各種デバイスのチュートリアル確認やヘルプセンターに遷移できます

8 お知らせ／利用規約／プライバシーポリシー（外部サイトに遷移します）

9 ログアウト
ログアウト後は、アプリログイン画面に遷移します。再度ログインが必要です

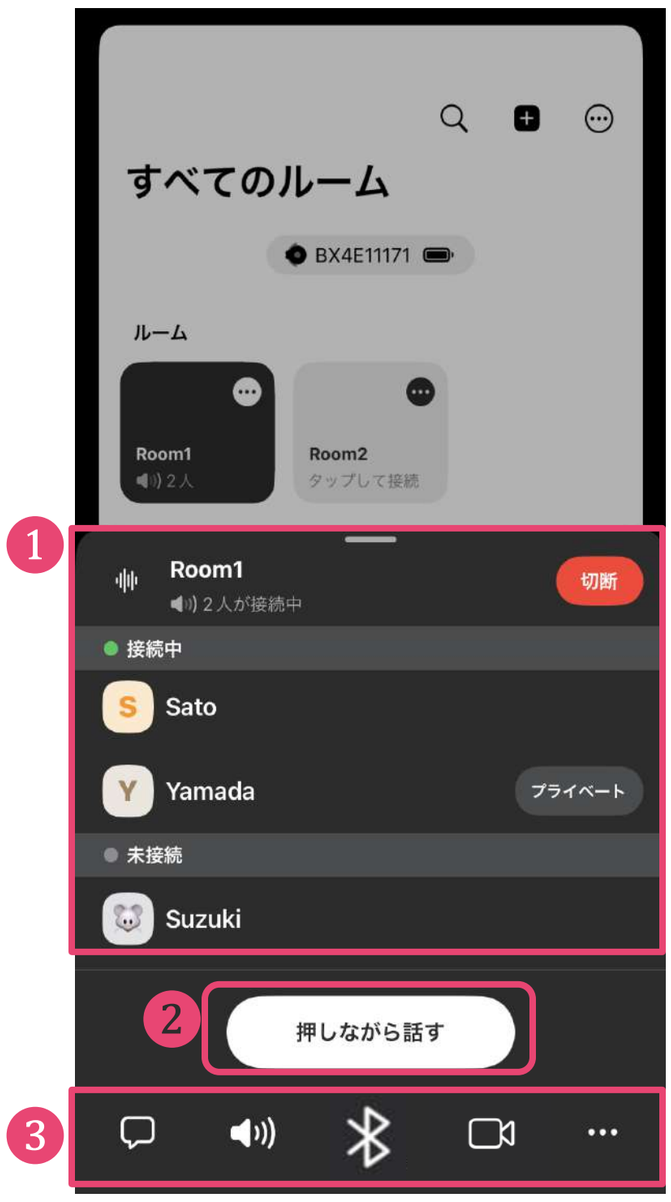
③ BONX WORKアプリの開始

3. アプリ画面の各部名称

トーク操作パネル：トークルーム接続後の画面

トークルームに接続すると、画面下部よりトーク操作パネルが立ち上がります。
トーク操作パネル内には、音声発信を行うためのマイク操作ボタンや、各機能のアイコンが表示されています。

トーク操作パネル



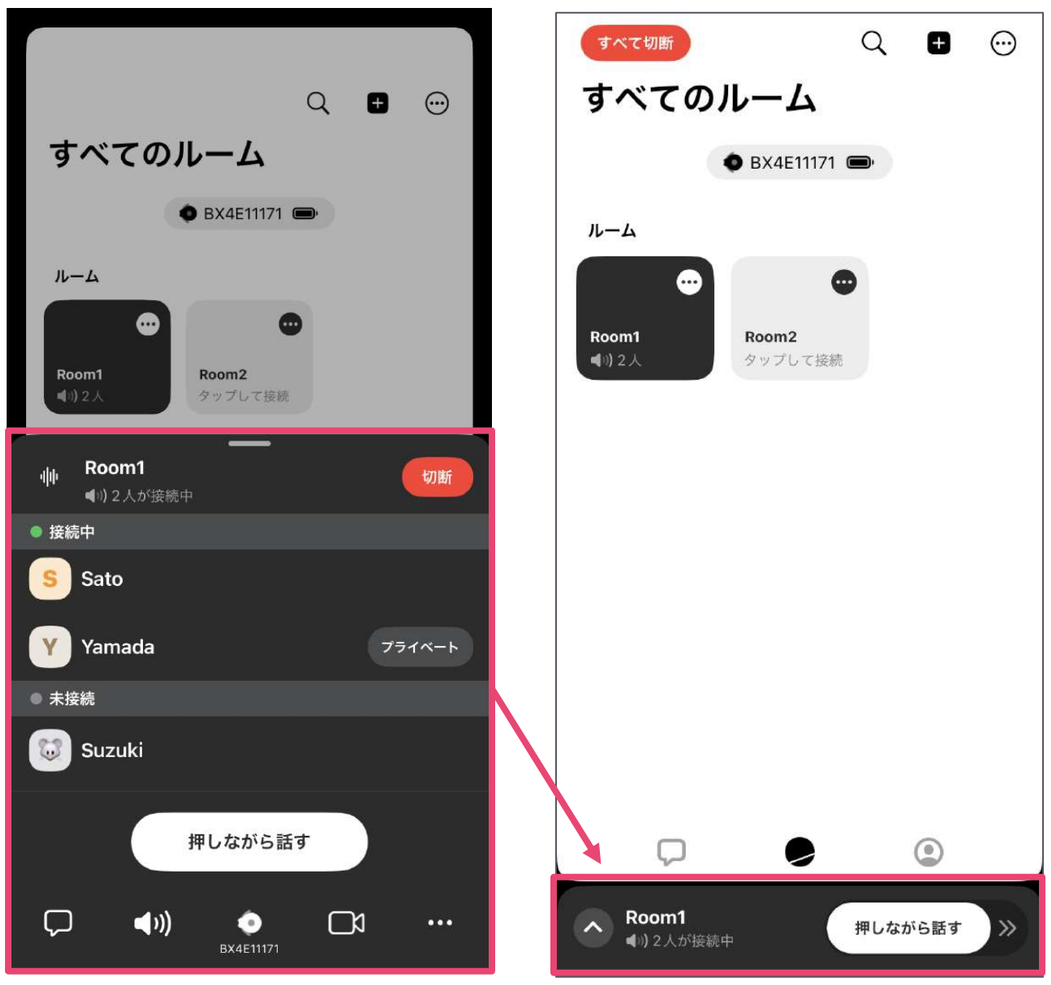
❶接続中／未接続メンバーリスト
・接続中：現在ルーム内に接続しているメンバー一覧
・未接続：ルームに接続していないメンバー一覧

❷マイク操作ボタン
アプリの画面操作で発話を行いたい場合に使用します
詳しい操作は、⑤トーク方法・通話時の設定をご覧ください。

❸各種アイコン

	チャットアイコン（ビジネスプラン/有償オプション契約者のみ表示）
	ルーム音量調節
	接続中デバイスの表示
	ライブ配信アイコン(ビジネスプランのみ表示)
	ルーム詳細

トーク操作パネルを縮小表示する場合



トーク操作パネルは縮小表示することが可能です。
トーク操作パネルもしくは、パネル外を
ワンタップすると、画面下部に縮小表示されます。

再度、フル表示させたい場合は、
接続中のルームアイコンをタップするか、
縮小表示されているトーク操作パネル部分を
タップすると元の大きさに戻ります。

④ トークルーム作成・通話

1. トークルーム作成

アプリ内で通話を行うにはトークルームが必要です。トークルームを作成し、メンバーを招待します。
※管理者・マネージャー権限のみルーム作成・招待できます（管理画面上でも可能です）

❶画面右上の［＋］マークを開きます。

❷［新規ルーム作成］を選択します。

❸ルーム名を編集し、右上の［作成］を押します
※ルーム名は後から変更可能です

❹招待画面が立ち上がるので、招待を送ります。
画面下部［招待コード］よりルームキーなどを表示する事も可能です。
※後から招待するときは［スキップ］を押します
※招待方法の詳細は次ページへ

Notice

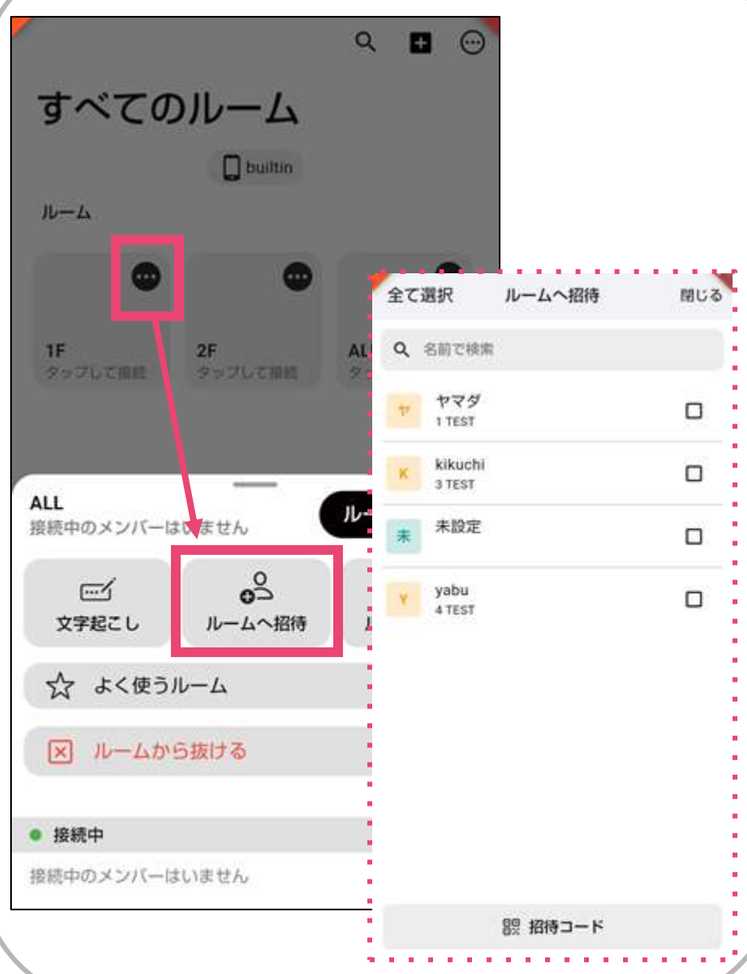
新しいルームを作成したい時のみ、ルーム作成をしてください。
既に作成/招待済みのルームに参加するときは、トークルームの入退室方法を参照ください。

④ トークルーム作成・通話

2. トークルーム招待

トークルームの招待方法は、4通りあります。（❶～❹をご覧ください）
招待したいルームのアイコン右[•••]からルーム詳細を開き、［ルームへ招待］を選択すると
ルームの招待画面が表示されます。※管理者・マネージャー権限のみ招待できます。
招待を受ける側のユーザーは、次ページの参加方法をご覧ください

ルームへ招待画面の表示方法



❶メンバーリスト招待	招待したいメンバーを選び、 一気に招待を送ることができます。 招待された相手には、通知が届きます。
❷QRコード	招待したい相手のアプリ画面で読み取ってもらいます。
❸ルームキー	招待したい相手に入力してもらいます。
❹招待リンク送付	招待したい相手にメール等でルームURLを送付します ※招待された側はアプリログイン後にルームURLにアクセスしてください

❶

招待したい人にチェックを入れます
画面下部の［◯名に招待を送る］を押すと
相手のアプリに通知が届きます

画面下部「招待コード」を選択すると、
ルームキーやQRコードが表示されます。

❷～❹を表示するためには、メンバーリストの画面下部の
［招待コード］を選択し、画面を切り替える必要がございます。

④ トークルーム作成・通話

3. トークルーム参加

トークルームの参加は、初めてそのルームに参加するときの操作になります。
招待方法によって操作方法が異なります。
すでに該当のルームに参加済みの場合は、本ページではなく次ページをご覧ください。

メンバーリストより招待された場合

メンバーリスト招待をされている場合、すべてのルーム画面上に「招待されたルーム」が折りたたみ表示されています。

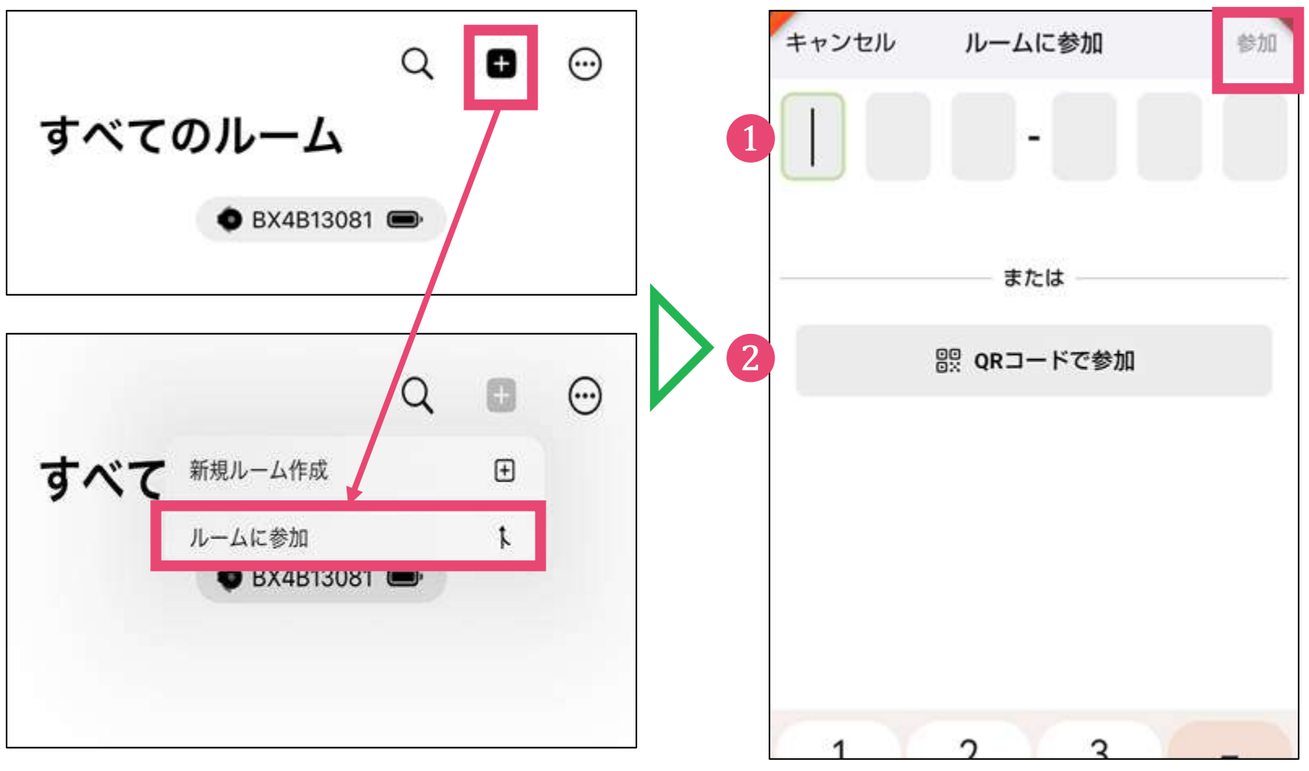
薄緑のルームアイコンをタップします。

ポップアップが表示されるので［参加］を押して、ルームに参加して下さい。

グレーのルームアイコンが表示されたら、参加完了です

Tips 招待されたルームや参加後のルームが画面に表示されない場合は、すべてのルーム右上［・・・］より［ルームリスト更新］を押し、画面が更新されるのをお待ちください

ルームキーやQRコードで参加する場合



まずは、ルーム参加画面を表示します。
すべてのルーム右上［＋］から、
［ルームに参加］を開きます。

❶ルームキーで参加
６桁のルームキーを入力し、
右上の［参加］を押すと、ルーム参加完了です。

❷QRコードで参加
［QRコードで参加］を押すとカメラが立ち上がります。
QRコードを読み取り、ルームに参加をします。

いずれも電波の良い環境にて、操作をしてください。

④ トークルーム作成・通話

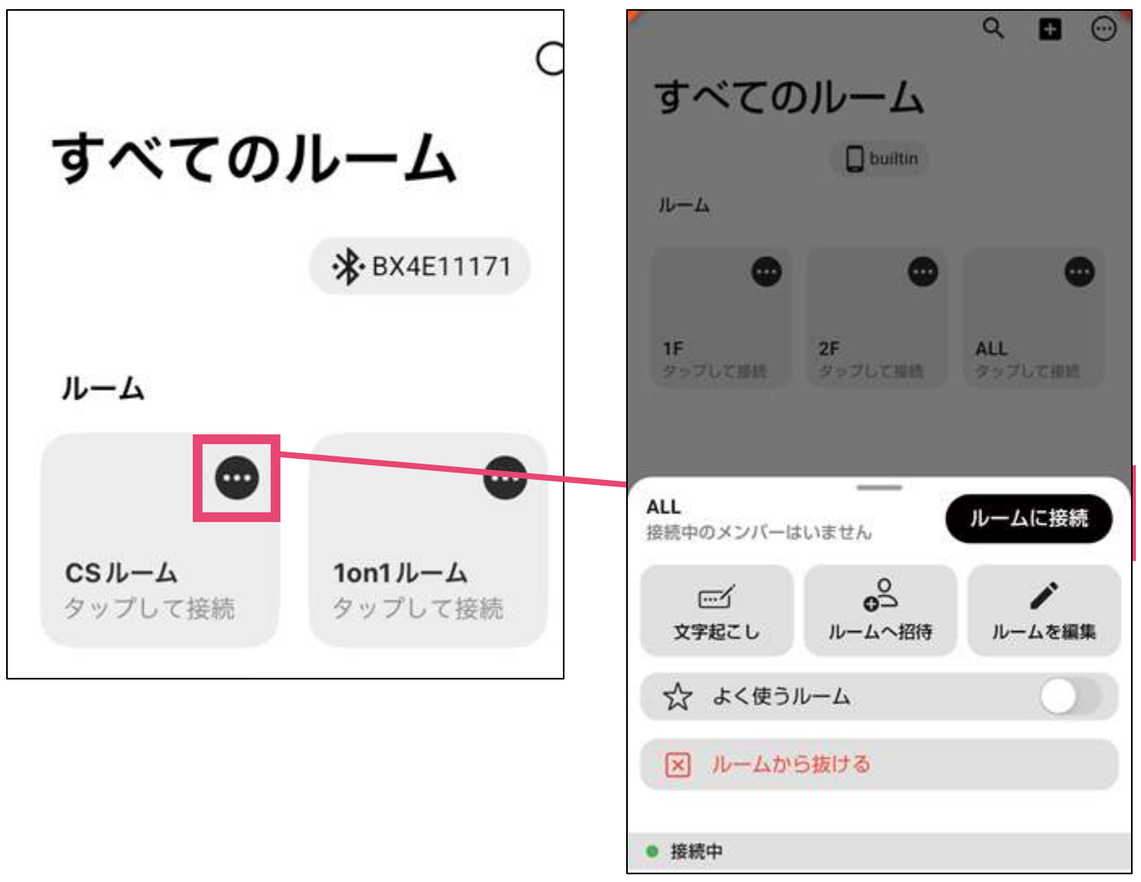
4. トークルームの入退室

トークルームの入室（接続）

トークルーム参加が済んだら、トークルームに接続を行いましょう。同じルーム内にいる接続中のメンバー同士と通話を行うことができます。
ルームに接続すると、該当のルームアイコンがグレーから黒に変わり、トーク操作パネルが立ち上がります。

入室方法❶ ワンタップで入室

入室方法❷ ルーム詳細から入室



トークルームの退室（切断）

トークルームから切断すると、ルーム内の会話は聞こえなくなります。
❶トーク操作パネルを立ちあげ、［切断］
❷ルームアイコン右［•••］からルーム詳細を開き、［切断］
❸すべてのルーム画面左上の［(すべて)切断］を選ぶと接続中の全ルームから切断されます

トーク操作パネルから退室

その他の退室方法

Tips

・エントリープランでは、同時に接続できるルーム数は1ルームのみです。
（※複数ルーム接続可能なユニットトーク機能は、ビジネスプランもしくは有償オプションのお申込が必要です）
・ルームに51人以上の同時接続を希望されるお客様はBONXチームへ別途ご連絡ください
（※ビジネスプランもしくは有償オプションのお申込が必要です）

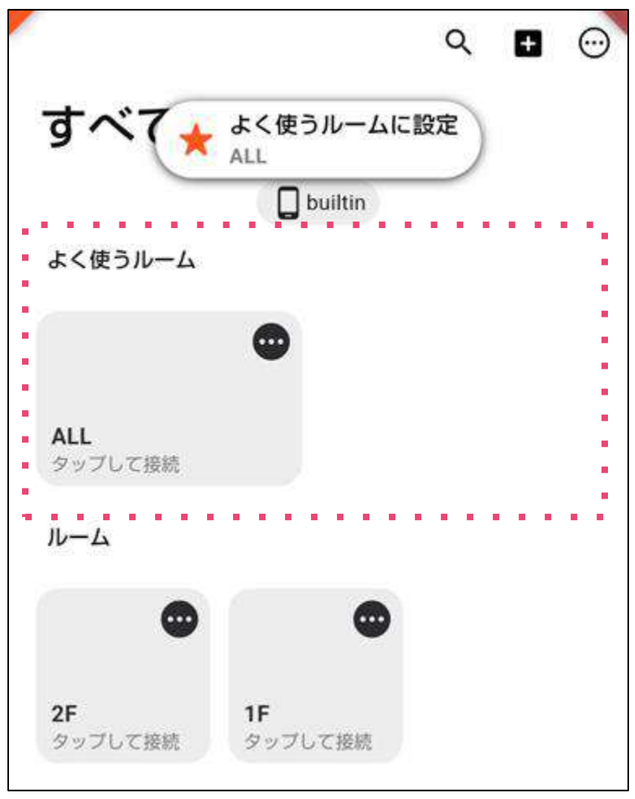
④ トークルーム作成・通話

5. よく使うルームとルーム検索

よく使うルーム機能

よく使うルームを設定すると、すべてのルームの一番上に表示され、ルームを見つけやすくなります。参加しているルームが多い場合、有効に使える機能です。

追加時

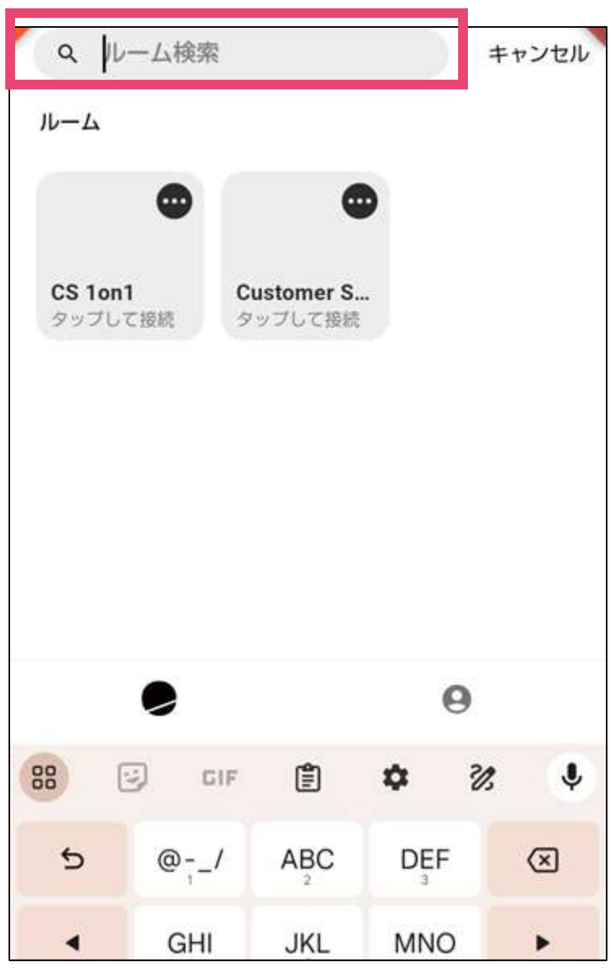


ルームアイコンの右上［•••］を開き、
よく使うルームをタップしてオンにします。

「よく使うルーム」として、ルーム一覧の一番上に表示されます。よく使うルームから削除したいときは再びタップしてオフにすると元のルーム一覧にルームが戻ります。

ルーム検索機能

すべてのルーム右上の虫眼鏡マークから、ルームの検索が行えます。
検索したいワードを入力すると、ヒットした文字列を含むルームが検索できます。
※招待中のルームも表示されます



④ トークルーム作成・通話

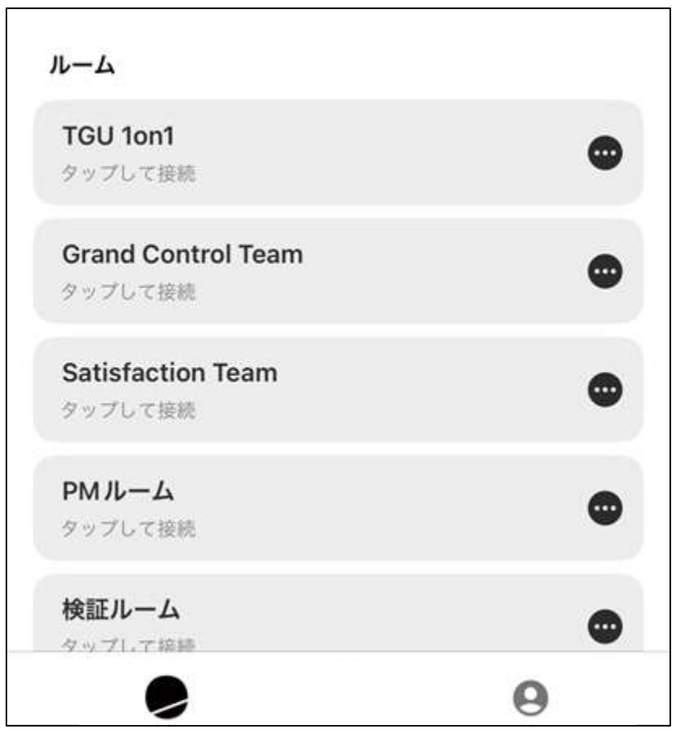
6. ルームの表示形式と並び替え

ルームの表示形式を変える

ルームの表示形式の変更を行うことが出来ます。
すべてのルーム右上の［•••］をタップします。
ルームの表示形式は、グリッド表示 or リスト表示の２種類から選択可能です。
※初期画面はグリッド表示です

グリッド表示

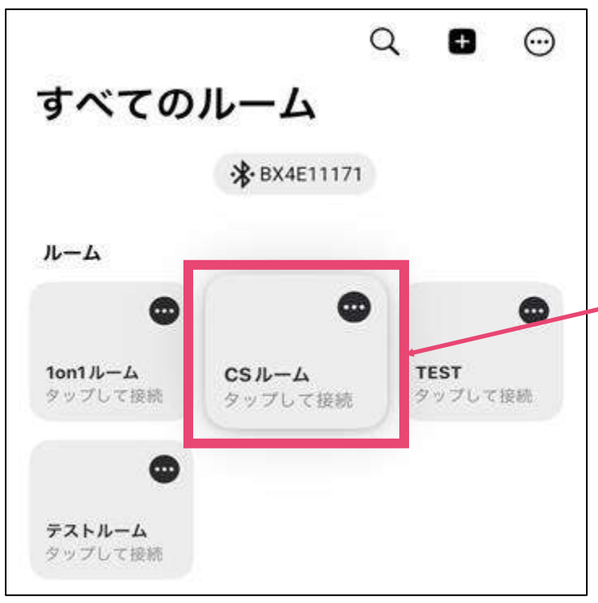
リスト表示



ルームの並び替えを行う

ルームの並び替えは、最後に接続した時間順、ルーム名、任意の並び方の３種類から選択可能です。

最後に接続した時間	最後に接続したルーム順に並び替えます（初期設定）
ルーム名	A→Z順に並び替えが行われます
任意の並び順	ルームを長押ししてドラッグすることで好きな順番に変えることができます



任意の並び順にするには、
並び替えしたいルームを長押しし、好きなところへ移動します。
他の並び順を選ぶと、任意の並び順はリセットされます。

⑤ トーク方法・通話時の設定

1. トーク方法について

2通りのトーク方法

シチュエーションに応じて切り替えることができます。
アプリのマイク操作ボタンもしくは、デバイスのボタンを使用して発話を行います。
デバイスで操作を行う場合、デバイスの種類によって操作可能なトーク方法が異なります。
詳しくは本ページ下部の表もしくは、こちらをご覧ください

トーク方法① 押しながら話す	ボタンを押している間だけマイクがONになり、相手へ音声が送信されます。トランシーバーのようなイメージです。
トーク方法② マイクのオンオフ切替	ボタンのワンクリック操作のみでマイクオン・オフの切替を行うことが出来ます。ワンクリックでマイクオンにし、その間はボタンから手を離した状態で発話が可能です。 通話を終えるときは再びワンクリックし、マイクをオフにします。

音声送信のイメージ

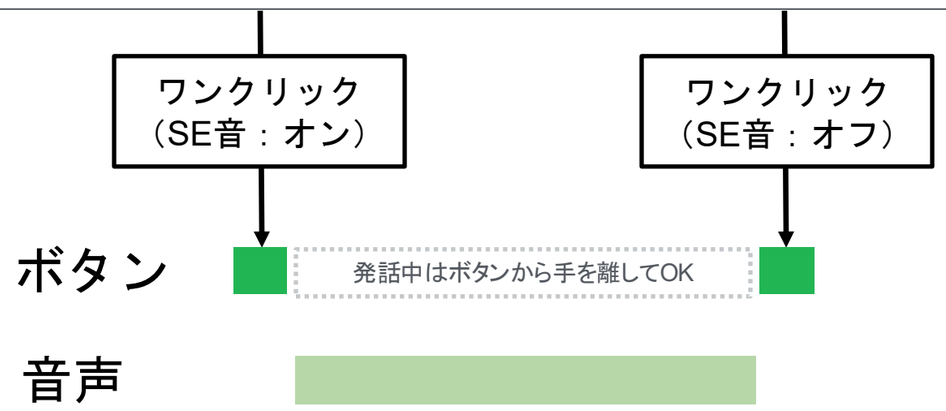
トーク方法❶　押しながら話す

ボタンを長押ししている間のみ相手に声が届きます。
ボタンから手を離すと、声が届かなくなります

※アプリ上では［押しながら話す］のボタンで操作します
詳しくはこちら

トーク方法❷　マイクのオンオフ切替

ボタンを１度短押しし、マイクオンにします。マイクオンの間は、ボタンから手を離したまま発話可能です。発話を終える時にもう１度ボタンを短押しし、マイクをオフにすると相手に声が届かなくなります。



※アプリ上では［押しながら話す］を横へスライドし、［マイクオン］にロックする必要があります
詳しくはこちら

デバイス別の利用可能なトーク方法

デバイスのボタン操作で利用可能なトーク方法の早見表です。
※アプリのマイク操作ボタンで操作する場合は、どちらのトーク方法も利用可能です。
※他社製デバイスは動作保証外です。お客様ご自身でお確かめください。

トーク方法＼デバイス	BONX Stick BONX BOOST	マイク付き有線イヤフォン	Shokz OpenComm2 PTT ambie AM-TW02
押しながら話す	○	×	○
マイクオンオフ切替	○	○	○

⑤ トーク方法・通話時の設定

2. トーク方法①押しながら話す

アプリのマイク操作ボタン［押しながら話す］または、BONX Stickのトークボタン・BONX BOOST のメインボタン※を使用し、押している間だけ相手に声が届けられる話し方です。
※BONX Stick/BOOST以外のデバイスご利用時は、アプリのマイク操作ボタンを使用します

アプリ：マイク操作ボタンを使う場合

トーク操作パネル

縮小表示時のトーク操作パネル

マイク操作ボタンとは？
トーク操作パネルにある［押しながら話す］という表示のボタンのことです
※ルーム接続時に表示されます

- **発話を行うとき**
マイク操作ボタンを長押しながら発話します。
発話している間は、
ボタンと自分のアイコンの枠が緑に光ります。

- **発話を終えるとき**
ボタンから指を離します。
ボタンから指を離すと、ボタンは白色に戻り、
音声は送信されなくなります。

BONX BOOST：メインボタン
BONX Stick：トークボタン　を使う場合

- **発話を行うとき**
BOOST/Stickのボタンを長押しながら発話します。

- **発話を終えるとき**
ボタンから指を離します。
指を離すと、音声は送信されなくなります。

BOOSTご利用時の注意点
長押しする際は、マイク穴（赤丸付近）を
ご自身の肌で塞がないようにご注意ください

Tips
発話中、アプリのマイク操作ボタンが緑に光らない場合、うまく接続できておらず
自分の声が相手に届いていない可能性があります。ルームから一度退出し、
再接続をお試しいただき、緑に光ることを確認してください

⑤ トーク方法・通話時の設定

3. トーク方法②マイクオン・オフの切替

マイク操作ボタンを［マイクオン］にロックしている間は、手を離した状態でも発話が可能です。通話を終えるときは、ボタンを［押しながら話す］に表示を戻すことでマイクがオフになり、相手に声が届かなくなります。

アプリ：マイク操作ボタンを使う場合

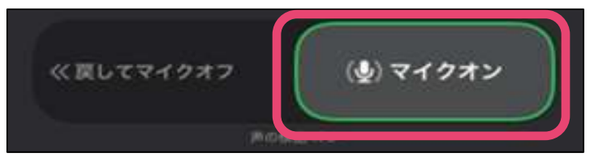
トーク操作パネル

縮小表示時のトーク操作パネル

- **発話開始時**

トーク操作パネルにある、
マイク操作ボタンを左右どちらかにスライドします。
※パネル縮小時は右にスライド

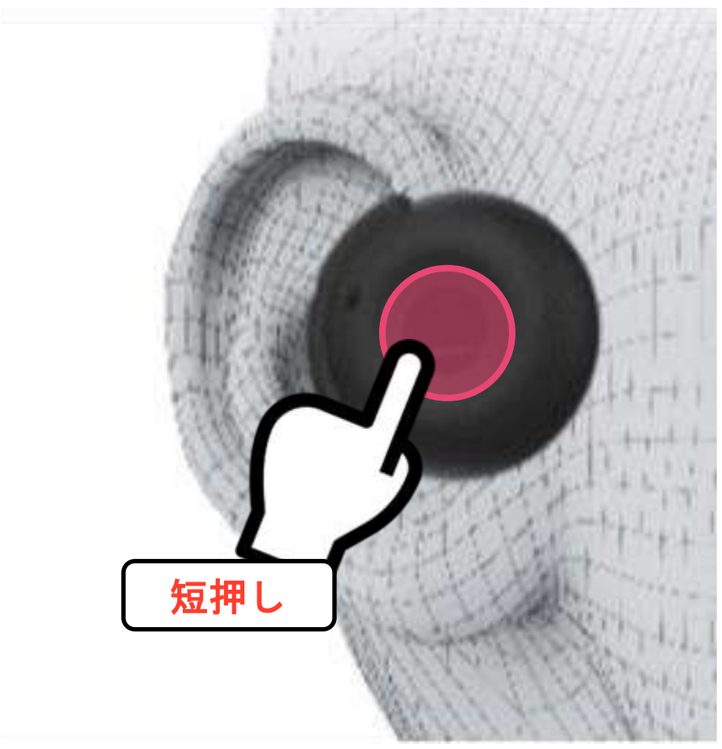
ボタンの表示が［マイクオン］という表示に変わり、
ボタンがロック状態になります。
この状態の時は、ボタンから手を離した状態で
発話が可能です。



- **発話終了時**

マイク操作ボタンを真ん中にスライドし、戻します。
ボタンの表示が［押しながら話す］に表示が戻り、
マイクがオフになります
（＝相手に声が届かなくなります）

BONX BOOST：メインボタン
BONX Stick：トークボタン　を使う場合



- **発話開始時**

BOOST/Stickのボタンを短押し（ワンクリック）します。
「オン」というSE音がなります。
マイクオン状態になりますので、
ボタンから手を離した状態で発話が可能です。

- **発話終了時**

再び、BOOST/Stickのボタンを短押し（ワンクリック）します。
「オフ」というSE音がなり、マイクがオフになります
（＝相手に声が届かなくなります）

Tips

Androidアプリver3.0.6以降、トーク設定より［押しながら話す操作のみ］を有効にすると、BONX BOOST使用時にはトーク方法①のみの操作に限定することが可能です。
トーク方法②でボタン操作ミスが多い場合は、この設定を有効にすることをお勧めいたします。
※設定方法は、通話のカスタマイズ-トーク設定をご覧ください

⑤ トーク方法・通話時の設定

4. 通話のカスタマイズ – トーク設定

トーク設定では、通話中の音声関連の設定を行うことができます。
【表示方法】設定画面＞トーク設定

マイクの入力レベル
現在のマイクに入力される声のレベルをメーター表示しています
声の検出（マイク操作ボタンのロック時）
マイクオン状態の声が届きにくい時は、オフにすることによって、相手に声が届きやすくなります。但し、騒音も入りやすくなります
声の検出感度
声が認識されづらい時に操作します。相手側に声が届きづらいと感じる時にあげて下さい
スピーカーブースト
音量を上げたい時に操作します。イヤフォンの音量を最大にしても聞こえづらい時、さらに音量を上げたい時にお試しください。 急に最大にすると思わぬ音の大きさになる可能性がございます。徐々にあげて様子を見るようにしてください
他人の状態の通知
他人の入退室音や電波状態の通知のOn/Offを設定します。 *自分の状態通知は消すことはできません *ガイダンスの音声の音量は調整できません
低遅延オーディオ
自分の発話した声が聞こえるようになります。自分の声が相手にどのように届いているかの目安にして下さい *必要に応じてループバック音量を調節して下さい
ループバック（Androidアプリver 3.1.0以降）
自分の発話した声が聞こえるようになります。自分の声が相手にどのように届いているかの目安にして下さい *必要に応じてループバック音量を調節して下さい

※初期状態に戻すときは、画面右上の［リセット］を押します

Notice
アプリをログアウトすると、初期状態にリセットされます。
再ログイン後は、再度設定を行ってください。
アプリアップデート時には、ログアウトしていなければ設定が引き継がれます。

⑤ トーク方法・通話時の設定

4. 通話のカスタマイズ – トーク設定

トーク設定では、通話中の音声関連の設定を行うことができます。
【表示方法】設定画面＞トーク設定

大きいマイク操作ボタン
ライブ配信解像度（Androidアプリver 3.1.0以降）
ビジネスプラン機能「ライブ配信」の解像度の調整を行えます 詳細はStart Up Guide Business Plan機能編にて説明しております
ネットワーク優先度（Androidアプリ ver 3.1.1以降）
デフォルトではWi-Fi/モバイルデータ通信になっています ご利用環境に合わせて切り替えることが可能です
マイクモード（Androidアプリ ver 3.1.0以降）*BONX Stick接続時に表示
BONX Stick接続時のみ表示される項目です BONX Stickのマイクモードを変更します それぞれのマイクモードの特徴はこちらをご参照ください *デフォルトは胸元モードになります
ボタンのダブルタップ
• マイクオンのルームの切り替え：ビジネスプラン機能「ユニットトーク」での任意設定項目です。詳細はStart Up Guide Business Plan機能編にて説明しております。BONX Stick/BOOST/Gripのメインボタン、または有線イヤフォンのボタンをダブルタップすると表示順にマイクオンのルームを切り替えることができます • ボイスメモ：ご利用いただくためには、別途連携オプションのご契約が必要です。詳細はヘルプセンターの「ボイスメモ機能について」をご覧ください
押しながら話す操作のみ（Androidアプリver 3.0.6以降）
［押しながら話す］話し方のみに制限する設定です。 有効にすると、アプリ側・イヤフォン側ともに［マイクオンオフの切替］の操作が使用不可になります *BONX mini、有線イヤホン利用時は有効になりませんのでご注意ください

※初期状態に戻すときは、画面右上の［リセット］を押します

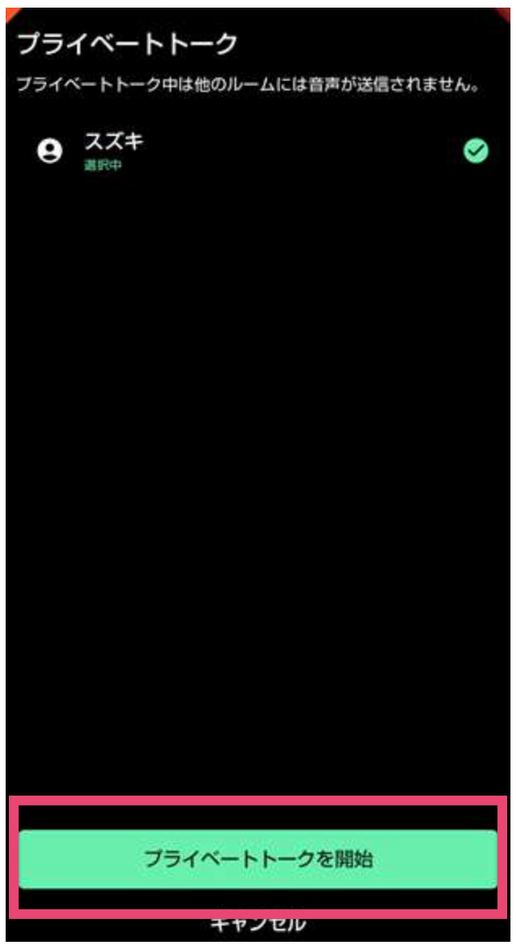
Notice
アプリをログアウトすると、初期状態にリセットされます。
再ログイン後は、再度設定を行ってください。
アプリアップデート時には、ログアウトしていなければ設定が引き継がれます。

⑥ プライベートトークの使い方

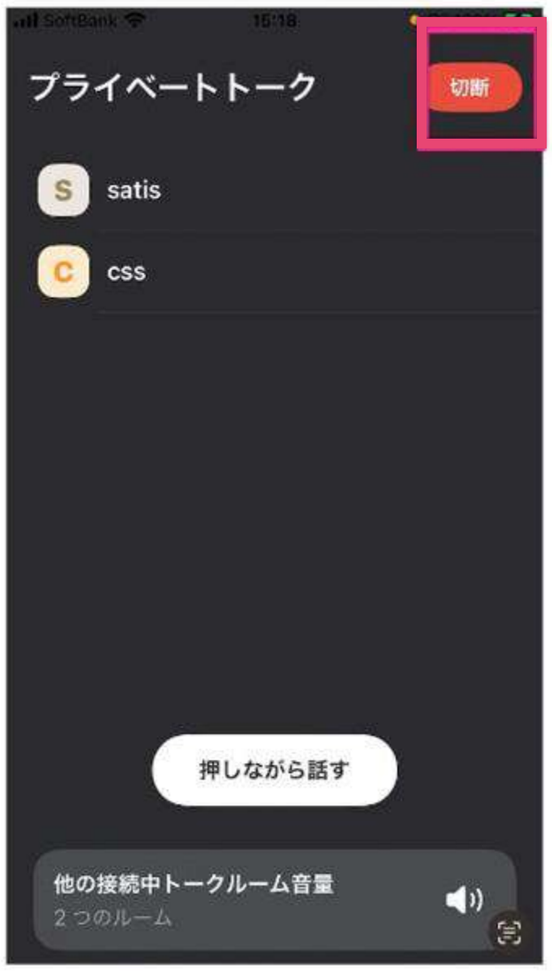
1. プライベートトークの使い方

プライベートトークとは、接続しているルーム内の特定の人とのみ会話をすることができる機能です。
接続しているルームのトーク操作パネルを立ち上げ、［プライベート］を押します。
話したい相手を選び、トークを開始してください。

❶トーク操作パネルを開き、［プライベート］を押します



❷話したい人を選び、［プライベートトークを開始］します。



❸特定の人とのみ会話ができます。
※途中で追加はできません。
［切断］を押すと元のルームの会話に戻ります。

プライベートトーク開始時の動き

プライベートトーク中の人を選ぶことはできません。名前の下に「失敗」と表示されますので、別のプライベートトークが終わるまでお待ちください。
※選択時のステータスになるので、選択した相手が別のプライベートトークをすでに開始してしまうと、選択できなくなりますのでご注意ください

Notice

- プライベートトークの開始は、アプリからの操作が必要です
- 選ばれた側は急に通話が開始します。事前にトークルーム内で伝えておくことをおすすめいたします
- 電波が悪い時は、プライベートトークが開始できない可能があります。しばらく経ってからお試しください
- プライベートトーク中はルーム内の録音がONでも、プライベートトークは録音されません

⑦ その他接続可能機器の使い方

1. Shokz Opencomm2 PTTの使い方

スマートフォンとOpenComm2 PTTのペアリング

Shokz社 **OpenComm2 PTT**（BONX WORKアプリ対応モデル）は、BONX WORKにてデバイス側のボタン操作で通話が可能な製品です。
※一般的に販売されているOpenComm2は、BONX WORK上でデバイス側のボタン操作には非対応です
※製品の基本情報・取り扱い方法は、Shokz OpenComm2ユーザーガイドをご参照ください

❶電源がオフの状態で操作します。LEDインジケーターが青・赤の点滅状態になるまで「音量＋」ボタンを長押しします
❷ペアリングするAndroid端末のBluetooth設定をONにし、端末の設定画面で認識されたデバイス名「OpenComm2 by Shokz」が表示されたら、タップします
❸端末上で「接続済み」と表示されたら、ペアリング完了です
❹アプリを立ち上げ、すべてのルーム画面下に「OpenComm2 by Shokz」の表示があるかご確認ください（表示がない場合は、ペアリングが正常か再度確認してください）

トーク方法

トークルーム接続後は、OpenComm2 PTTの操作で「押しながら話す」「マイクオン・オフ切り替え」のそれぞれのトーク方法が利用可能です（トーク方法の違いは、⑤トーク方法・通話時の設定をご覧ください）

- **OpenComm2 PTT操作箇所：マルチファンクションボタン※**

※Shokzユーザーガイド上ではミュートボタンと表記されていますが、BONX WORKでは同じボタンをマルチファンクションボタンと呼んでおります

トーク方法①：押しながら話す
マルチファンクションボタンを長押しをしている間のみ声が届きます

トーク方法②：マイクオン・オフ切り替え
発話時にボタンをシングルクリックし、マイクオンにします（マイクオンの状態はハンズフリー状態で通話が可能）

終話時に再度ボタンをシングルクリックし、マイクオフにすると相手に声が届かなくなります

Tips

Shokz OpenComm2 PTTについては、ヘルプセンターもご参照ください

⑦ その他接続可能機器の使い方

2. YAMAHA社 YVC-200、YVC-330の使い方

スマートフォンとスピーカーをペアリングします

端末とスピーカーをBluetooth接続します。

スマートフォンの設定 > Bluetooth > ON
※スマートフォンとスピーカーの距離が離れすぎないようにご注意ください

トーク方法

❶トークルーム接続後、マイク操作ボタンを［マイクオン］にします。アプリ側はマイクオンにロックした状態を維持します。
❷スピーカー側のマイクボタンで発話状態を変更し、通話を行います

基本操作
- 待機時　：マイクボタンをミュートにしておきます（※相手に声が入らない状態）
  ルームの音量はスピーカー側の音量ボタンで調節します
- 発話時　：マイクボタンのミュートを解除し、スピーカーに向かって発話します

❶アプリ側［マイクオン］にロック状態

❷スピーカーのマイクボタンを使って操作

Tips
YVC-200、YVC-330の製品情報、その他詳細の使い方につきましては、YAMAHA社の公式ウェブサイト・サポートチームへお問い合わせください。

Start Up Guide BusinessPlanの紹介

BONX WORKのビジネスプランに搭載されている機能をご紹介します。
詳しい操作方法は、Start up guide Business Plan編 for Android ver 3.0.0～を
ご覧ください。

iOS　Android

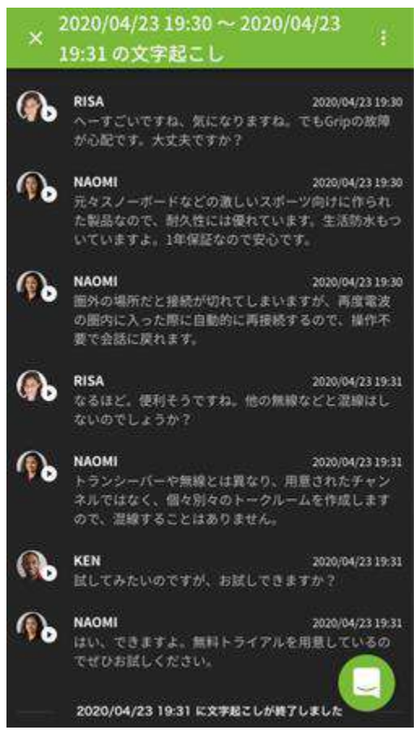
1 <u>録音機能</u>
ルーム内の会話を録音することができます。
また、音声データのダウンロードも可能です

2 <u>文字起こし機能</u>
話した言葉が文字起こしされます。アプリから参照したり、コンソールからダウンロードが可能です

純正ヘッドセット
「BONX BOOST」

3 <u>ユニットトーク機能</u>
最大7つのトークルームに同時接続・通話が行えます

4 <u>チャット機能</u>
音声だけでなく、テキストや画像が送信できます。



5 <u>ライブ配信機能</u>
ライブ配信に招待したメンバー間で映像を確認しながら会話ができる機能です

6 <u>テナントまたぎ機能</u>
別のテナントのユーザーが同じルーム内で会話ができる機能です

Tips

エントリープランのお客様でも、
ビジネスプランの一機能ごとを有償オプションにて追加可能です。
上記機能以外に下記もございます。

- ルーム同時接続上限数（500人）
- 接続デバイス管理
- SAML認証によるSSO
- 音声通知API連携
- PC版アプリケーション

詳細のお問い合わせやご契約については、
担当営業もしくはBONXまでお問い合わせください。
BONX：b4b_info@bonx.jp